

十年前後の女子は 男子の様に育てる

醫學士 河島 右一

女子は男子よりも早熟

子供が學齡に達しますと教育の仕方方も一變して六ヶ敷なりますが、分けても十歳前後に於ける女子の教育は家庭に於て母親の注意が最も必要であります。一體、男子と女子とは既に體格の上に著しい違があつて知能の發育から云つても女子は男子と比較して早熟でありますが、獨り智能の發育ばかりでなく、女子の體格は生理上男子よりも早く發育するもので、等しく十歳前後の男女を比較して見ても容易く之を知ることが出來ませう、又女子が十歳前後に達したら腰部の周圍を冷えぬ様にさせますが男兒には格別夫れ程の注意を要しませんのも、女子と男子とは生理上體格の異なる點があるからです。

寧ろお轉婆の方が賛成
十歳前後の女子教育に就いて大切な母親の注

意は何であるかと云ふに、夫れは成可く女らしくさせぬと云ふ事です、例へば頭髮の結び方から着物の縞柄其他お化粧等の事に至る迄、餘り美しく派手に飾らせないやうにするのです、世間多くの母親が娘に對する躰方を見ますと、成可く美麗にお装いをさせる事に苦心して居るやうです、之れは母の情として尤もなことではあります但し夫れには適當なる時期があつて、其の時期よりも早からず、又晩からざるやうに注意します事が母親の大事な責任であります。

故に十歳前後の女子の華美に飾ると云ふ事よりも、寧ろ男兒と一緒に活潑な運動でもして男兒を凌駕する位の活氣を持つて居て貰ひたい、斯ういふ快活なる女子を俗にお轉婆と申しますが、此時代のお轉婆は教育上賛成すべき事で、之れを嗜める方が却つて誤解して居るやうかと思ひます。

華美かな和服よりも質素な洋服

夫れですから十歳前後の女子には平生成可く洋服を着せて置く事が必要と考へます、洋服ですと和服のやうに縞柄や色合が華やかでなく質素な切

地を用ゐるのが普通である殊に邪魔な袖はなし裾も短く和服を着たよりも自ら舉動が活潑になるから何うしても女らしい事をして居られないやうになります、且つ又女子の洋服は和服よりも極めて低廉であるし、洗濯して常に清潔にさへして置けば、和服の如く幾組も作らずとも平常着の儘で大抵な場所へは往かれますから、此點から云つても至極經濟になります。

斯様に男らしく装らせて置けば、何うしても早く女になりませんで、十三四歳頃までは嬌羞の念もなく常に男兒のやうな心持で居ります。

女子一代の不幸

十三四歳の頃まで女らしくならぬやうに母親が注意しますと、結局月經の順序が正しくなります、日本の女子は十六歳四ヶ月の頃に月經を見ますのが生理上の規定になつて居ます、處が十歳前後の頃から華かにお飾などさせますと自ら春を知る事が早く、中には十三歳頃より既に月經を見る者さへある程です、之れは女子の一生に取つて生理上餘り宜しくない事です。

若し十六歳以後になつて、始めて月經を見ますやうなら、其の間に怠らず學問を勵み、一意専心他を顧みずに技藝を研ぐ事が出來ます、處が若しも月經が早いと自ら性慾の念に驅られて、女子一代の技藝ですらも充分に研修することも出來ず、遂には結婚の時期を早めるやうになります、之れは女子に取つて決して幸福とは申されませんが、生理上から見ても順潮とは申されません。

故に女子の月經を規則正しく順潮ならしむるには、十歳前後に於ける母親の注意が最も大切で此時代の女子教育は決して等閑にする事は出來ないのです。

